

2023年6月25日

7月、8月の礼拝の予定について

田園調布教会 牧師 高橋和人
牧師 姜 帷米

主の御名を讃美します。

ペンテコステの恵みの下、慰め主なる聖靈によって祈りの力を与えられて信仰の歩みを重ねておられることと思います。

教会は、少しずつコロナ対応から回復しようとしています。この三年間に人々の受けた影響は大きく、教会も痛手を受けてきました。その一方で、それぞれの信仰の営みが様々な努力と工夫によって支えられ守られて来ました。まさに、慰め主なる聖靈がキリストの体の肢体である信仰者一人ひとりに働いてくださった恵みを覚えることができました。

しかし、田園調布教会ばかりでなく全ての教会が体力を失い、弱ってきました。そこには世界の大きな変化の影響もあります。その中で急に元通りにするのではなく、この間に経験したことを生かしながら、丁度リハビリをするように、焦らず、無理なく、穏やかな回復を目指すことができればと願っています。

教会は初期の迫害の時代から何度も大きな危機を迎え、それを乗り越えてきました。その間に信仰が磨かれてきました。それは、信仰にとって、救いにとって、教会にとって何が大切なのかが問われて考える期間となったからです。そして、その度に主に立ち帰ることが求められてきました。危機の後には主イエスに立ち帰り、聖書に立ち帰り、御言葉に立ち帰ることで歩み出そうとしてきました。教会の回復の道はいつも御言葉によって主に立ち帰るという目標を与えられています。

人の知恵によってではなく、主の導きによって歩み出すには、祈りを合わせることが大切です。礼拝に集うことが困難な兄弟姉妹が増えていますが、互いに礼拝を覚え、祈りを合わせて、教会の歩みが力づけられるようにと願っています。

教会では感染予防に留意しながら、礼拝を守り、部会や部門会を行うことができるようになりました。

礼拝は主日の午前と午後の2回に分けて礼拝していましたが、7月からは午前10時30分の礼拝はそのまま行き、午後の礼拝を終了して、夕の公同礼拝を午後4時から再開します。 内容は午前の礼拝と同じ内容になります。

また、10時30分の礼拝の音声同時配信はしばらく継続いたします。

聖書研究祈祷会は水曜日午後2時より、2階会議室で牧師による詩編講解を連続しておこなっています。安定して守ることができるようになりました。